

学校法人 資生堂学園 資生堂美容技術専門学校、新校舎を竣工
学生数を2倍に拡大。美容文化の創造に向け、新たなるスタート

学校法人 資生堂学園 資生堂美容技術専門学校(所在地:東京都板橋区 永嶋久子学校長)は、さらなる学園教育の充実と新たな美容文化の創造に向け、かねてより建設を進めていた新校舎の竣工式を2005年12月20日に執り行い、同学園理事の池田守男資生堂会長をはじめとする学園理事や、前田新造資生堂社長など関係者約80名が出席しました。

新校舎は、学習棟(地上5階建て)とホール棟(地上3階建て)の2棟で、建物の合計面積が旧校舎の約5倍の広さに拡張されました。これにより、受け入れる学生の人数を増やし、来年度入学する本科の学生から、1学年の定員を従来の2倍の240名に増やします。

学校法人 資生堂学園は、1959年に「資生堂美容学校」として設立されました。以来、ヘアメイク技術を中心とした美容分野において、資生堂の133年にわたる美と知の蓄積を活かして次世代を担う人材育成を行い、これまでに約1万2千名の卒業生を世に送り出してきました。その多くが第一線の美容師やエステティシャンとして、また美容ジャーナリストやグローバルに活動するビューティーアーティストとして活躍しています。

2005年春の美容師国家試験合格率は97.7%(全国平均74.5%)と非常に高く、美容業界関係者からも厚い信頼を寄せられており、学生への求人も毎年20倍を超えています。就職先も、資生堂美容室や著名ヘアサロン、エステサロン、ネイルサロンなど多様で、また近年では資生堂ビューティーコンサルタントとなるなど、活躍の場はさらに広がり充実しています。

新校舎概要

今回竣工した2棟のうち、学習棟には、学科教室12室、最新式のリア式シャンプー台等を完備した実習室4室、資生堂の商品を自由に使えるメイク実習室、換気に配慮したネイル実習室、花嫁衣裳の着付も体験する着付教室(和室)などがあり、実習に必要な設備や器具は、すべて最新式のものを導入しています。また、PCコーナーや図書室、事務室のほか、学生が接客の実務実習を行う場としても活用する附属美容室「REPOS」(ルポ)も配置されます。

ホール棟には、地域との交流も視野に入れた多目的ホール(700名収容可)やカフェテリア(220席)、作品撮影用スタジオなどを設置。2棟はそれぞれ1階と3階の渡り廊下でつながる構造となっています。

また、現在使用している仮校舎は1月以降解体し、正門から学習棟の正面玄関にかけては、緑ゆたかなスペースとして整備します。また、ホール棟に近い北門側には、「花椿」にちなんで「椿ガーデン」を設置するなど、校庭の整備も行います。

<ご参考>

正式名称 学校法人 資生堂学園 資生堂美容技術専門学校
住所 〒173 - 0003 東京都板橋区加賀2丁目15 - 1
学校長 永嶋 久子
理事長 福原 義春(資生堂 名誉会長)
理事 内館 牧子(脚本家)、大内 順子(ファッション評論家)、高野 悦子(岩波ホール支配人)、
木滑 良久(マガジンハウス 取締役最高顧問)、池田 守男(資生堂 会長)
監事 鎌田 隆(弁護士)、守谷 一誠(資生堂 常任監査役)

資生堂学園の沿革

1959年 4月 「資生堂美容学校」として、東京都新宿区に開校。初代校長に藤原あき就任。
1964年 4月 東京都板橋区に新校舎および学生寮が落成、移転。
1967年 9月 2代目校長に高賀富士子が就任。
1974年 2月 附属美容室を設置、営業開始。
1982年11月 高賀校長が「美容師養成功労者」として厚生大臣表彰を受ける。
1990年 4月 3代目校長に山内志津子が就任。
1997年 4月 4代目校長に永嶋久子が就任。ハードとソフトの両面から学校改革を開始。
1998年 3月 学校法人 資生堂学園となる。初代理事長に福原義春就任。
1999年 2月 各種学校から専修学校に改組。4月、校名を「資生堂美容技術専門学校」に変更。
2003年 5月 「エステティシャン養成コース」開講。
2005年12月 新校舎(学習棟、ホール棟)竣工

教育理念

資生堂学園は、教育理念として「真 善 美」を掲げています。「真」とは、事実や物事の本質を見極める心。「善」とは、人として正しく生きる心。「美」とは、人を優しく美しくそして豊かにさせる心を意味しており、実践的な教育を通して、美容業界の次代を担う若者の人間形成に力を入れた教育活動に努めています。

設置学科と授業内容

現在、資生堂学園には、美容本科(2年制)と美容通信科(3年制)の2科に合計455名が在籍し、エステティシャン養成コース(年2回開講、3カ月間で計330時間)には、各回30名が受講しています。

本科生は、シャンプー・カット・パーマなどの基礎技術や、関連法規・衛生管理などの学科を学んだ上で、メーキャップ・カット・アップスタイル・着付・ネイルの中から、自分が最も学びたい専門分野を選択授業として学べるほか、自主選択授業(授業料別途)として、放課後にエステティシャン、ネーリスト、ホームヘルパーの3つのコースが用意されています。

また、資生堂ならではの授業として、資生堂ビューティークリエイション研究所をはじめとする、時代を先駆ける美のクリエイターたちによる特別授業も行われ、有名アーティストから直接テクニックを学べる有効な機会として活用されています。

以上